

平成 23 年 2 月 22 日

平成 22 年度 株式会社ジエイコムウエスト大阪局  
放送番組審議会 議事録

- I. 開催日時 平成 23 年 2 月 22 日 (火) 14:30~16:00  
II. 場 所 大阪市天王寺区東高津町 7-11 大阪府教育会館 たかつガーデン 3階会議室『菊』  
III. 出席者 《放送番組審議委員》 7名 (内 2名欠席)

重田 秀義	東果大阪株式会社 代表取締役会長
野崎 暁	株式会社サンクス 特別顧問
廣島 祥之助	サンエイド株式会社 代表取締役社長
後藤 忠臣	大阪局コミュニティ担当
奥田 豊子	帝塚山学院大学 教授
濱田 三作男	社会福祉法人ラヴィータ 理事長 (欠席)
田中 正	天王寺交通安全協会専務理事 (欠席)

(順不同・敬称略)

《事務局》 7名

奥村 悠地	大阪局 営業局長
黒田 融	大阪局 業務局長
川島 宏	関西メディアセンター メディア事業部
今井 沙織	関西中央ブロック マーケティング担当
平 伸一	大阪局 業務局課長
喜多 利明	大阪局 業務局 総務チーム
大槻 静	大阪局 業務局 総務チーム

IV. 次第

1. 開会挨拶

- 1) 2010 年 4 月 体制変更 (ブロック制導入) について説明
- 2) 2011 年 7 月 地上デジタル化に向けての対策
  - ・地域イベントの実施
  - ・家電量販店への人員配置
  - ・J:COM ショップの展開

2. 事業概況報告

- ・2010 年 12 月期決算の概況と加入状況の報告

### 3. 新チャンネル・新サービスの紹介

- 1) コンテンツ強化・新サービスの紹介
  - ・HD化拡大：HD50ch体制へ
  - ・「J:COM TV My Style」の販売開始（2010年7月～）
- 2) J:COM オンデマンドの新サービスの紹介
  - ・見放題パック（2010年7月～）
  - ・地上波ドラマの独占配信（2010年10月～）
  - ・3Dコンテンツ配信（2010年4月～）
- 3) KDDI との企業提携について

### 4. コミュニティチャンネルの編成について報告

- 1) 関西メディアセンターについて
- 2) コミュニティチャンネル番組内容説明
- 3) 地域コンテンツの強化について
  - ・「8時です！生放送！！」2010年度より番組編成を強化
  - ・「情報スロット」
  - ・「J:COM パーク」
  - ・地域のお祭り等の生放送
- 4) コミュニティチャンネル番組ダイジェスト（DVD映像視聴）
  - ・地域情報番組
  - ・行政番組
  - ・広域番組
  - ・生放送番組

### 5. 審議

（委員）先程視聴していたコミュニティチャンネル番組のダイジェストの中で見てみたい番組がありましたが、コミュニティチャンネルの番組表は、ジェイコムマガジンには入っていないのですか？

（事務局）ジェイコムマガジンの真ん中あたりにCS放送番組欄とは別に綴じこんでおります。

（委員）コミュニティチャンネルについて、いい番組が数多く放送されていますが、広告や宣伝が足りなく、認知度が低いのではないのでしょうか。

（事務局）そうですね。民放に比べ、一般紙に番組表が掲載されていない為、ご加入者様からでも、こんな番組があったのか、といわれることもあり、昨年7月に「8時です！生放送！！」をリニューアルするにあたり、民放を視聴されている方が、ザッピングをされる際に目が留まるような方をキャスティングいたしました。

（委員）ザッピングをした際に目に留まるような方をキャスティングしていても、コミュニティチャンネル

ルの手前のチャンネルで止まってしまう、コミュニティチャンネルまでチャンネルを変えられず、視聴につながらないと思います。

(事務局) 確かに、ご意見いただいた内容は気になっております。

制作スタッフ、編成スタッフで話し合い、具体的なアクションを起こしていこうと思っています。民放のように、大々的な広告や宣伝は難しいが、限られた予算の中で、より多くの方にみていただくよう努めてまいります。

また、局、メディアセンターで密接な係わり合いをもち、共にコミュニティチャンネルを盛り上げていきたいと思っています。

(委員) 若いタレントではなく、知識・話術に長けた方を起用し、地域の街歩きといった番組や、関西歌舞伎など、よき時代の大阪芸能文化を取り上げた番組を制作していただきたいと思います。

(事務局) おっしゃるとおりです。「8時です! 生放送!!」火曜日担当 [REDACTED] については、歌舞伎役者など、大阪芸能に携わる方とも懇意にしており、そのような [REDACTED] もでており、検討しているところです。

## 6. 閉会

## V. その他意見

- ・ブロック制を導入したということであるが、本当にブロック制にするのがいいのか、現場の意見をすいあげて、積極的に上層部にあげるべきではないでしょうか。
- ・解約理由等、解約者についての分析をし、今後の戦略を考えるのに役に立てていくことが重要なことだと思います。
- ・J:COM は関西だけではなく、他の地域へも展開しているが、関西には、関西の独自性があるので、それを考慮に入れた上で、関西ならではの戦略を考えるべきだと思います。
- ・獲得ばかりに目を向けて、お客様がいるという認識がないように思います。もっと現場の声を上にあげるべきなのではないでしょうか。

以上